その時、その場て 高濃度なヘルシー水素水生活を

「その時、その場て 高濃度なヘルシー水素水生活を。」
新製品「iBottle（アイボトル）- Hydrogen Healthcare Water on Demand」

シーオーツーフ ラス株式会社(広島市東区 / 取締役社長:髙橋弘美)て は、
独自に開発した「水素発生剤 HOD」(Hydrogen On Demand ※日本特許登録番号:4384227)と
作りたての水素水を高濃度の状態て 飲むことか て きる「iBottle(アイボトル）」(特許出願済み)
を新たに発売開始 することになりました。
これまて 市販されてきた水素水の課題は、まさに水素濃度か 低いことにありました。
これは容器に充填された水素か 販売まて の流通中に気散してしまうことか 原因て した。
当社の製品は、これまて にない高濃度を実現し、業界て 初めて「作りたての水素水」を提供する
ことに 成功しました。

「iBottle の溶存水素濃度は あのルルト の泉の水の 167 倍 !」
水素濃度比較
●ルルト の泉(フランス) 0.006ppm ※1
●トラコテの水(メキシコ) 0.001ppm ※1
●ノルテ ナウの水(ト イツ) 0.0004ppm ※1
●市販水素水(アルミ缶) 0.2ppm ※2
★当社製品「iBottle」1.0ppm 以上 ※2

※1=日本スーハ 一水素研究所 HP より
※2=カ スクロマトク ラフィー法て 測定(自社測定)
※ppm とは parts per million の頭文字を表し 1000ppb=1ppm となり濃度単位となります。

-- 開発の経緯 --
「水素は一番効率の良い抗酸化物質て ある。」・・・て あれは 、
「いつて も!と こて も!飲みたい分を手軽に作って!しかも高濃度て 飲みたい!」
●人間の体は
60%か 水分て す。毎日飲む水は、体に良いものを選ひ たい、そんな思いから私たちは
「水素水」に着目しました。
●「水素水」には、体内の活性酸素を打ち消す作用か あります。悪玉活性酸素は生活習慣病やかんの
原因と言われています。体内を酸化させる悪玉活性酸素からカラタ を守るためにも「水素水」の持つ
還元作用に大きな期待か 寄せられています。昨今の放射能障害の問題やエイシ ンク 、更には生活環境 か もたらす酸化ストレスにも「水素水」の還元作用は大変大きな注目を集めています。
●しかしなか ら、市場に流通している製品の多くは、残念なか ら十分な水素濃度を期待て きるわけて は
ありません。容器なと に充填、保存された商品て は充填、流通過程て 水素か 気散してしまうためて す。
また、市場て は家庭て 作るスティック型タイフ の水素水も見かけますか 、難点として作ってから飲め るまて 数時間から 1
日ほと 待つ必要か あり、更に金属マク ネシウムの入ったスティックを頻繁にメン
テナンス洗浄をする必要もありました。
●また、アスリートの世界やモテ ル業界においても話題の水素水て はありますか 、従来製品て は

、溶存
水素の濃度か 低かったり、飲みたいときに水素水を気軽に飲めないという問題か あるなと 改善点は 多くありました。
◎当社は、これからの状況を踏まえ開発ホ イントを以下の二つと位置つ けました。
1飲みたいときに、いつて も、と こて も、手軽に、飲みたい量た け、飲めること。
2従来製品て は実現て きなかった高い溶存水素濃度を「高濃度」て 達成すること。
〇二つのホ イントを実現するために、当社は従来にはない、まったく新しい水素発生剤の研究開発に
着手しました。他社の水素水は、工場て 製造されたアルミ容器入り水素水や、家庭て 製造出来る電解 還元水、金属マク ネシウムを水に反応させたもので した。
当社はそれらの欠点て ある時間か かかり過き る点や高濃度を実現て きない点に対し改善するへ く技術 開発に、6 年の歳月を費やし、ついに解決策を導き出しました。

-- 新製品 iBottle の特徴 --
●この度、シーオーツーフ ラス株式会社て は、新しい水素発生剤「HOD」(Hydrogen On Demand)を開発しました。従来の水素発生剤て ある Mg(金属マク ネシウム)は水との反応か 遅い。Mg より水と
速く反応する水素発生剤はないのか?そこて 当社は、「水素化カルシウム(CaH2)」に注目しました。
●問題として、この水素化カルシウムは水との反応か 速過き ることにあり、重大な対策ホ イントとなり ました。そして水との反応を遅延させる技術を開発いたしました。MgH2(
水素化マク ネシウム), CaH2
なと 水素を含む化合物、ケミカルハイト ライト を糖類なと の水溶性化合物て 包埋することて 取り扱い を容易にすることを実現しました。そして CaH2
を包埋したことて 糖類か 水に溶解した後、CaH2 か 水
と反応するので 水素発生まで の反応速度を遅延させることに成功しました。
●この組成物は水と接触すると H2
を発生します。したか って水さえあれは 、いつて も、と こて も、水素 (H2)
を得るこか て きることから「Hydrogen On
Demand」、略しまして「HOD」とネーミンク いたしました。 ※日本特許登録番号:4384227
※韓国、中国なと 外国特許は出願審査中

●ショッフ 情報http://www.kirei-cosme.jp/ibottle/
●お問い合わせ 「iBottle - Hydrogen Healthcare Water on Demand」30 包入り
希望小売価格 18,900 円 (税込)

シーオーツーフ ラス株式会社 iBottle 担当 風早 ひとみ 重村 まりこ TEL 0120-098-456 FAX 0120-098-457 営業時間 : 9:00 ~ 17:00(土曜、日曜、祝日を除く) E-mail: info@kirei-cosme.jp URL:http://www.kirei-cosme.jp/

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com